

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	49-2217
部 名	土木部	課 名	南土木事務所	課長名	八木 博
事務事業名	都市下水路等維持補修事業				
予算上の事務事業名	都市下水路等維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32630		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます				
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理				事業開始年度
施 策 名	第3施策 下水道管理の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
雨水調整池管理要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分		維持・管理・補修 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
雨水調整池施設の点検、調査を計画的に行い、異常を速やかに発見し維持補修する。計画的、予防的な維持管理を行い、施設の機能を確保し、その使用期間の延命を図る。				南部地区管理区域分33箇所	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
雨水調整池等施設修繕 修繕 10件 内訳 フェンス等の破損修繕3件 雨水調整池天端コンクリート打設2件 ポンプ施設の修繕4件 電気施設の修繕1件					
6 関連・類似事業や他市の状況					
類似施設がある他市においても同様である。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	3,811	3,026	2,548	2,700	2,700
一般財源	3,811	3,026	2,548	2,700	2,700
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	12,201	11,036	10,618	10,770	10,770
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	施設修繕料			対象名称(単位)	修繕件数
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	12,201	11,036	10,618	10,770	10,770
対象数	12	14	10	12	12
単位あたり経費(円)	1,016,750	788,286	1,061,800	897,500	897,500
前年度比		0.78	1.35	0.85	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	施設補修件数	指標式と指標の説明	施設の補修		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	12.0	14.0	10.0		
目標	12.0	14.0	10.0	12.0	12.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	施設補修率(%)	指標式と指標の説明	補修件数/補修を必要とする件数 補修率の増減により施設維持の健全性をみる。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が悪い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	良好な状態を維持する事業			
	[]	概ね良好な状況である事業			
	[]	見直しを行う必要がある事業			
	[]	抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		施設の現状機能を回復させる維持補修を行うことにより、施設(耐用年数)の延命を図ることが出来、経費の節約につながる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			経年劣化に対する維持補修費の増加が懸念される。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			